

11 明倫短期大学生の性格特性と実技成績の特徴

○中澤孝敏¹, 植木一範¹, 丸山 満¹, 藤口 武¹, 下河辺宏功²

1明倫短期大学 歯科技工士学科, 2明倫短期大学

keywords : YG性格テスト, 性格特性, 実技成績, 学生像

はじめに

歯科技工士として将来を期待される学生を輩出するために、歯科技工士への適応性を早期に確認し、個々に応じた教育を行うことが、成績や性格、器用さなどに格差の大きい現在の学生には必要である。そこで、学生の性格特性が実技成績に強く影響を及ぼすのではないかと考え、3年間の学生に対して調査を行った。

対象および方法

本学歯科技工士学科学生（平成17～19年入学生）176名を対象とした。方法として、全員に矢田部ギルフォード（YG）性格検査（一般用）を行い、A型（平凡普通型）、B型（不安定積極型）、C型（安定消極型）、D型（安定積極型）、E型（不安定消極型）の5つの性格型に分類した。さらに、YG性格検査の型判定に用いた系統値の得点により、12の性格特徴を考慮した。また、実技成績については、3段階（上位31人、中位114人、下位31人）に分類し比較した。

結果および考察

1) 各年度の学生の性格特性（YG性格検査）分布

A型：目立たない平均的なタイプが年々増加する傾向にある反面、C型：平穏だが受動的なタイプは減少している。E型：技師タイプは18年入学生のみ増加を示し、B型：対人関係の面で問題を起こすタイプとD型：指導者タイプはあまり各年度間に変化はなかった。

2) 実技実績と性格特性の関係

A型は、最も多い全体の3割を占め、成績分類は分散していた。C型とE型においては成績の上位と下位の割合が大きかった。B型は成績下位の割合が小さく、反面、D型は上位の割合が小さかった。（図1）

3) 実技成績と性格粗点との関係

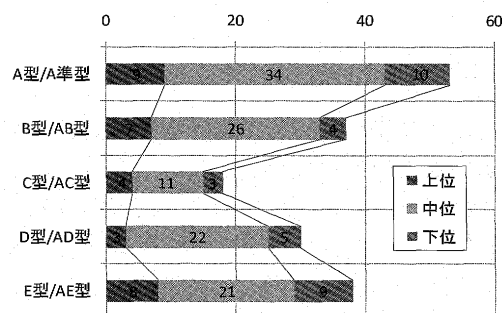


図1 実技成績と性格特性との関係

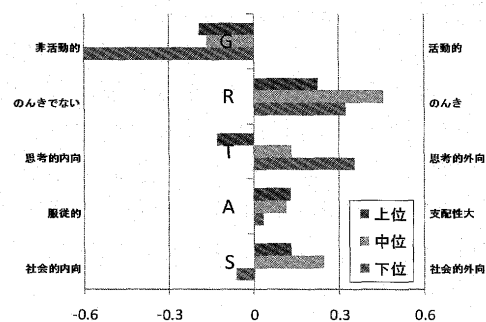


図2 向性因子と実技成績との関係

12に分類した性格粗点について実技成績との関連をみると、上、中、下位で非活動性を示し、成績下位が極端に高い得点を示した。のんきは成績中位が、思考的外向では成績下位が高い得点を示し、本学の学生は総じて「のんき」や「劣等感大」も多く、社会的適応における「客観性」の欠如も認められる。（図2）

まとめ

YG性格検査と実技成績を比較した結果、本学歯科技工士学科学生の成績上位は、心配性、主観的、の項目で下位に比べ強い傾向があった。また、思考的内向（反省的な性格）では上位が下位に比較して強い傾向であった。詳細な性格分析では、成績との関連性があることがわかった。